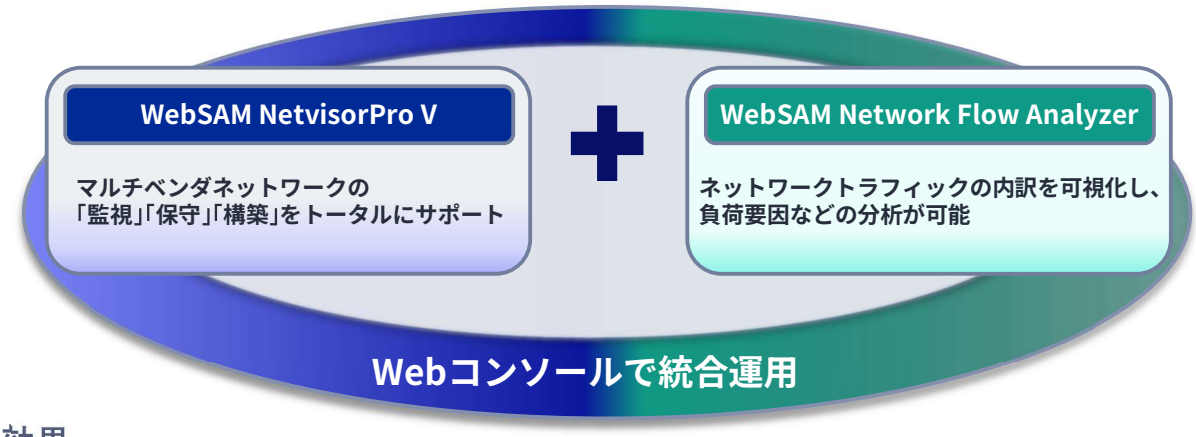
WebSAM

WebSAM NetvisorPro V
WebSAM Network Flow Analyzer

ネットワーク運用管理ソフトウェア

2つのネットワーク管理ソフトウェアを統合し、ネットワークの安定運用と管理業務の効率化、管理コストの低減を実現。

マルチベンダネットワークを一元管理できる「WebSAM NetvisorPro V」と、ネットワークトラフィックを可視化できる「WebSAM Network Flow Analyzer」を、Webコンソール（WebSAM Integrated Management Server）で統合運用することで、障害の原因分析などもすばやく行えるようになり、効率的なネットワーク管理が可能になります。



適用効果

ネットワーク監視とトラフィック分析を実現

ネットワークの全体状況を把握する際、
WebSAM NetvisorPro V とWebSAM Network Flow Analyzer
の各製品が提供する個々の画面を確認する必要がなく、
効率的に管理業務を行うことができます。

任意の端末から状況を把握可能

Webコンソールは、Webブラウザを利用しているため、
クライアントソフトウェアのインストールが不要で、
任意の端末からネットワークの状況を確認できます。
緊急時には身近な端末からすばやく対応することができます。

利用イメージ

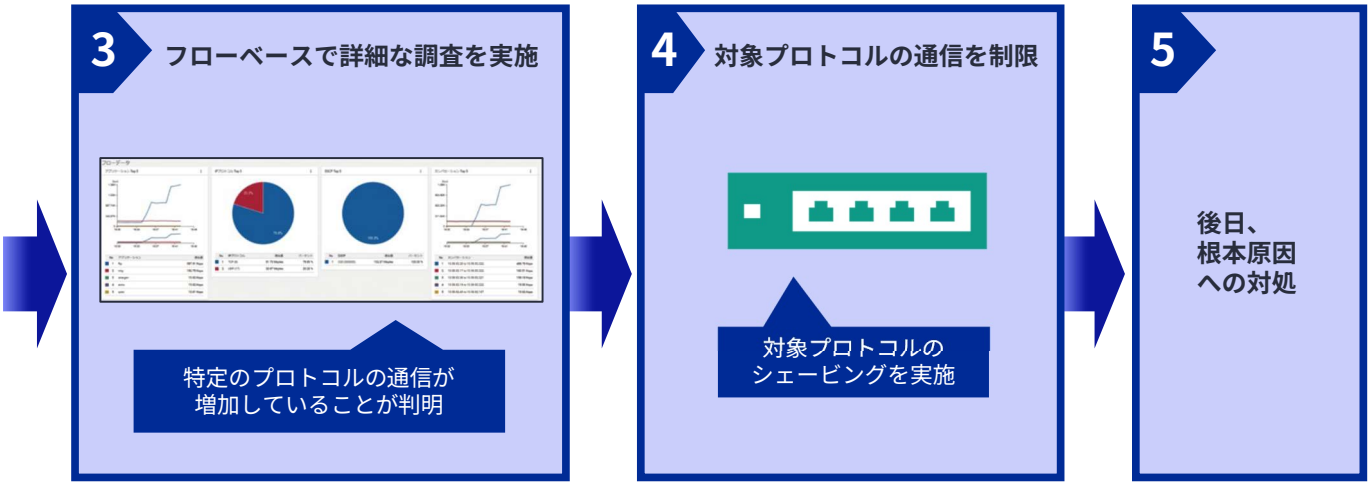
1つの画面で、WebSAM NetvisorPro VとWebSAM Network Flow Analyzerをシームレスに利用して、効率的にネットワークの運用管理が行えます。

1 ダッシュボードで表示されている
性能グラフから異常状態を発見

通信量が単調増加しているノードを発見

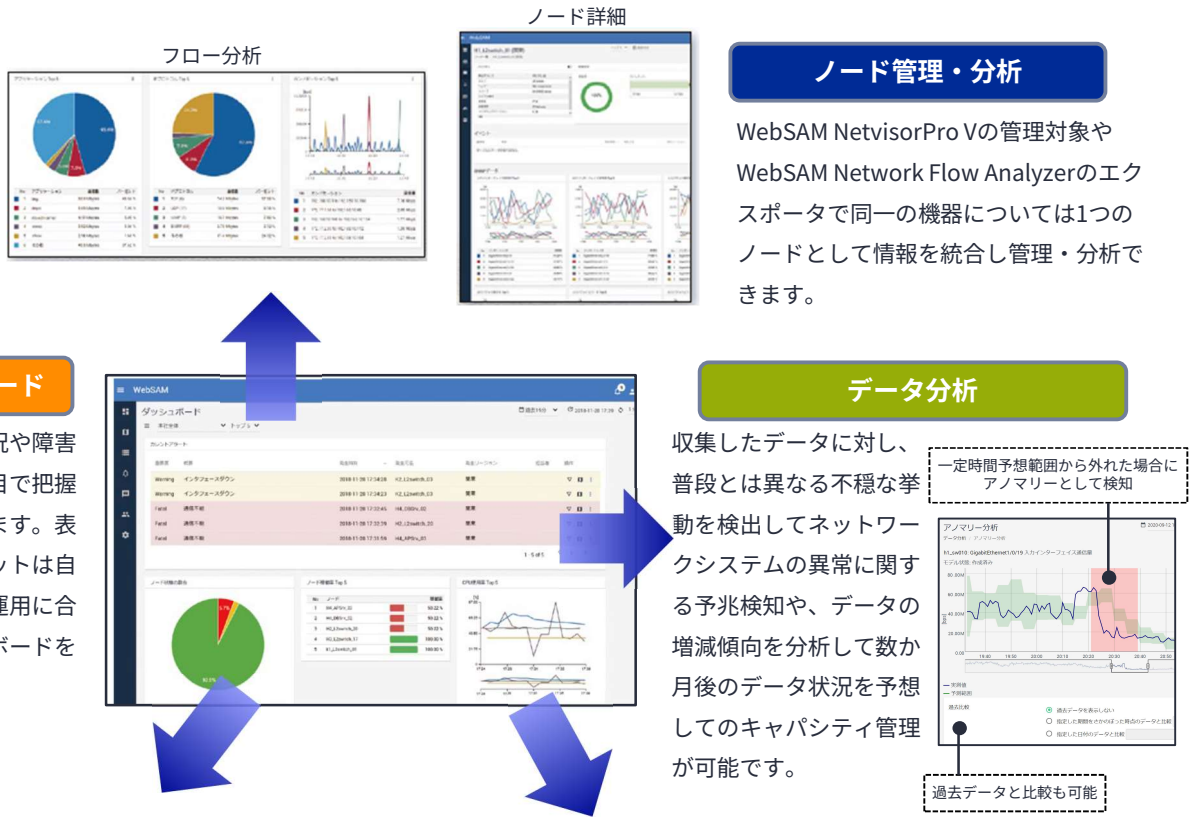
2 ノード詳細画面でノードの状態を確認

MIB情報をもとにしたグラフ
表示から、通信が増加傾向に
あるインターフェイスを特定



統合運用イメージ

ダッシュボードを起点に、WebSAM NetvisorPro VとWebSAM Network Flow Analyzerが管理している情報を連携させて管理・分析することが可能です。



WebSAM

ネットワーク運用管理ソフトウェア

WebSAM NetvisorPro V

マルチベンダネットワークをビジュアルに一元管理でき、コンフィグ管理や障害の検出／対処を強力にバックアップして、ネットワークの安定運用をサポートします。

適用効果

複雑なネットワークも一目で把握可能	面倒なコンフィグ管理、ソフトウェア管理の効率化を実現	障害の検出から対処までを強力にバックアップ
小規模から大規模まで、マルチベンダネットワークをビジュアルに一元管理することで、機器構成の容易な把握が可能になり、万が一の機器故障、異常トフィックなど、さまざまな障害にも迅速に対応することができます。	マルチベンダネットワーク機器のコンフィグファイルのバックアップや世代管理、ソフトウェアの更新管理などをリモートで制御することで、機器のメンテナンス作業の効率化と作業時間の短縮を実現します。	マルチベンダネットワーク機器から送られてきたシステムログ(Syslog)を自動分析し、その障害内容と対処方法を表示します。これまで費やしていた原因究明までの時間を短縮し、迅速な障害復旧をご支援します。

運用イメージ

マルチベンダネットワークの「監視」「保守」「構築」をサポート

WebSAM NetvisorPro Vは、マルチベンダネットワークをビジュアルに一元管理し、大規模環境にも対応するスケーラビリティを持った運用管理ソフトウェアです。構成・障害・性能管理をベースとした基本機能に、拡張機能を組み合わせることで、ネットワークの監視から保守、構築の領域までをトータルにサポートし、運用の効率化と管理コストの低減を実現します。

システム全体の統一した運用の実現

WebSAM NetvisorPro Vは、WebSAM SystemManager Gと連携することでサーバ、アプリケーション、ネットワークの監視を統合的に管理し、運用コストを低減します。

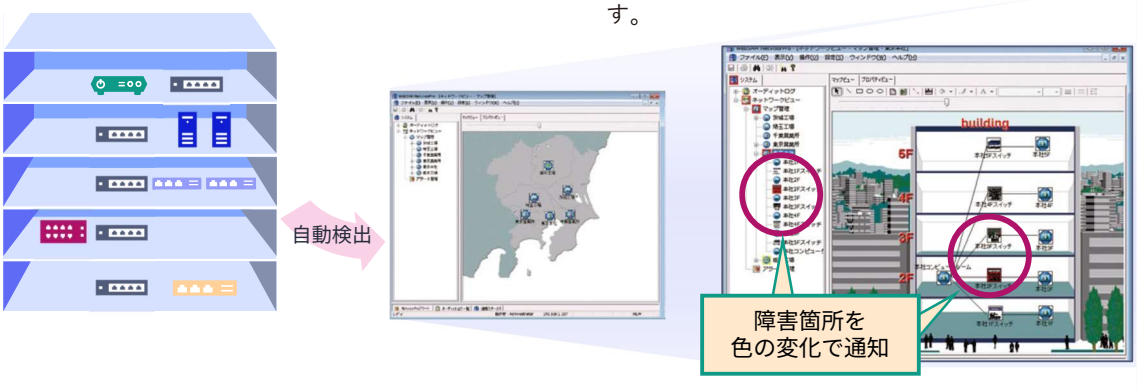
基本機能（マルチベンダネットワークの運用管理コストを削減）

IPv4/IPv6ネットワーク構成マップの表示

ネットワーク機器を自動的に発見し、ネットワーク構成マップを作成します。
マップではフロアやネットワーク、機器などをアイコンでわかりやすく表示し、機器などの配置は自由にカスタマイズできます。

管理者への障害通知

機器の死活監視、ポート単位のアップダウンチェック、MIBのしきい値監視などを行い、異常検出時にはアイコンの色を変化させて、障害箇所をいち早く通知します。また、特定のアラート発生時に、通報(電子メール、パトランプ、トラップ転送など)を行うことができます。これにより、常時、管理画面を監視していなくても迅速に障害の発生を把握できます。



物理トポロジの状態監視

機器同士を結ぶ配線の状況をネットワーク構成マップに表示します。複雑な配線や障害によるケーブルの切断状況が一目で把握できます。また、局所的な任意の2点間の状態を参照することも可能です。

Syslog監視機能

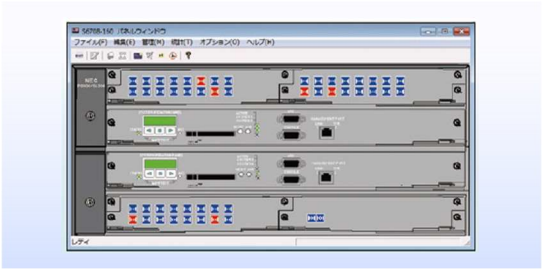
ネットワーク機器などからのSyslogを受信し、管理者へ通知することができます。また、Syslogデータを自動的にファイル出力し蓄積することも可能です。

性能レポートの自動生成

ネットワークトラフィックなどの性能情報を収集し、グラフ表示を伴う性能レポートを自動作成します。日/週/月/年単位など、必要に応じて効率的にネットワーク性能管理が行えます。また、スイッチ、ルータ側でモニタリングした通信フローの情報(sFlow)を収集し、詳細なネットワーク利用状況が確認できるレポートを自動作成します。また、MIB計算式(収集した複数のMIB値を元に定義した式)を使用することで、複数のMIBデータの計算結果をグラフやレポートとして表示することが出来ます。

フロントパネル表示（NodeManager機能）

実物をイメージしたフロントパネルからポートの状態などを容易に把握でき、機種ごとにビジュアルな管理を実現します。また、機器固有の装置情報(メモリ、温度など)を参照することも可能です。



ResourceManager機能(機器のコンフィグ・ソフトウェア管理の効率化を実現)

コンフィグファイルのバックアップ・世代管理

マルチベンダネットワーク機器のコンフィグファイル(設定ファイル)を一括でバックアップできます。バックアップしたコンフィグファイルは世代管理を行い、任意の2つのコンフィグファイルの差分を容易に確認できます。

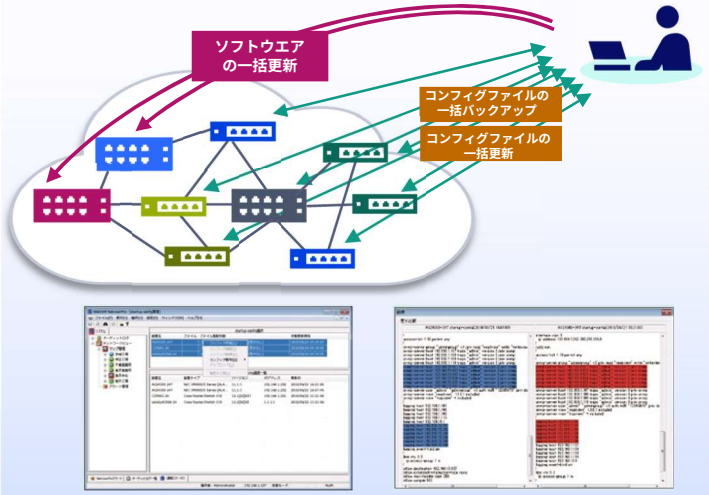
コンフィグファイルの一括更新

マルチベンダネットワーク機器のコンフィグファイルを共通の手順で一括更新できます。
ファイル更新の履歴は記録されます。

容易なソフトウェア配布

マルチベンダネットワーク機器のソフトウェア更新を一括で行えます。大量の機器のソフトウェアバージョンアップが効率的に行え、作業時間やコストを大幅に削減できます。

※ 本機能を使用するためにはWebSAM NetvisorPro V ResourceManager機能ライセンスが必要です



コンフィコンフィグファイルを一括でバックアップ

コンフィコンフィグファイルの差分表示が可能

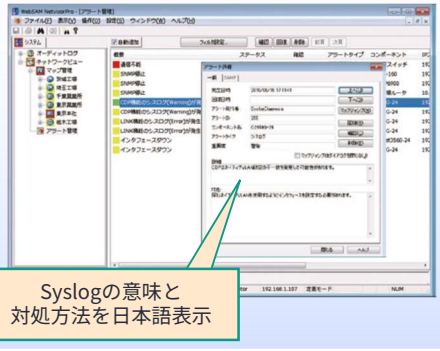
SyslogDiagnosis機能(障害の検出から対処までを強力に支援)

Syslog分析機能

マルチベンダネットワーク機器から送られてきたSyslogをナレッジにより自動分析し、その障害内容と対処方法を日本語で表示します。
これにより、管理者が複数のマルチベンダ機器のマニュアルなどを参照してトラブルシューティングに費やす時間と手間を劇的に削減することができます。
障害管理や保守支援作業などを強力にバックアップします。

障害の延長で機器にコマンド発行

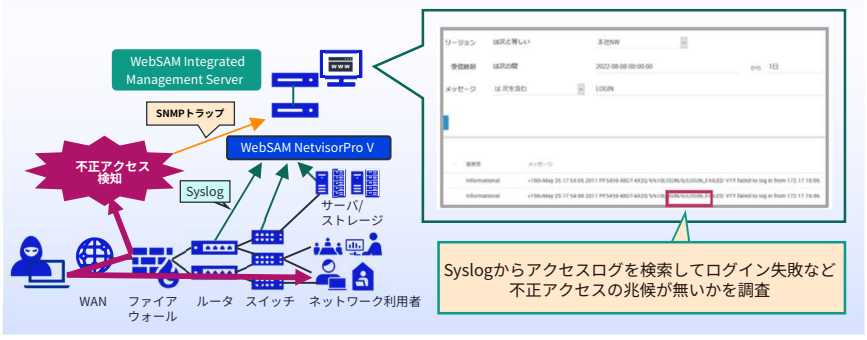
Syslogの障害内容に応じて定義した任意のコマンドをネットワーク機器に発行します。例えば、障害解析などに必要な機器の情報を取得するためのコマンドを実行することで、よりタイムリーな情報採取が可能となります。



Syslogサーバ機能

SyslogDiagnosis機能のライセンスを割り当てている機器については全レベルのSyslogを保持し、検索することが可能です。
Syslogからアクセスログを検索してログイン失敗など不正アクセスの兆候が無いかの調査に活用するなど、セキュリティポリシーで求められるログの保全が可能となります。

※本機能を使用するためにはWebSAM NetvisorPro V SyslogDiagnosis機能ライセンスが必要です。



WebSAM

トラフィック分析ソフトウェア

WebSAM Network Flow Analyzer

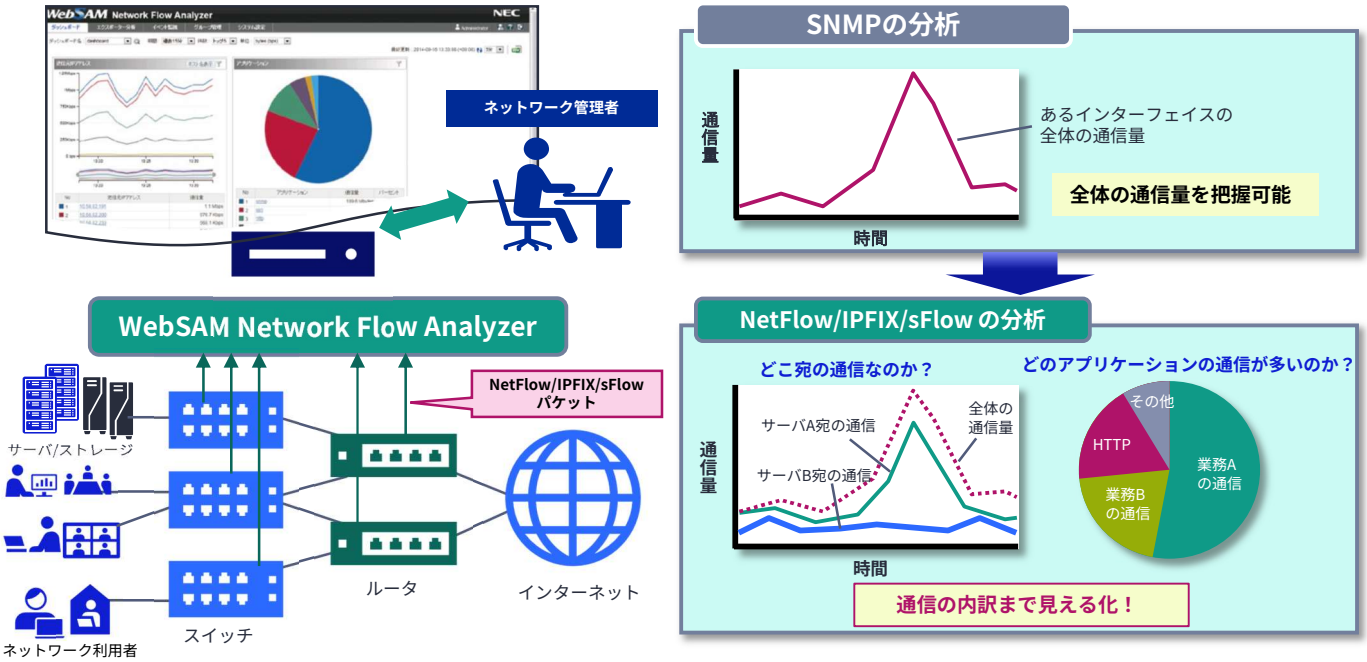
これまで見ることができなかった「誰が どこ宛に 何の通信を どれくらい 行っているか」といった通信量の内訳を可視化して、ネットワークの安定運用をサポートします。

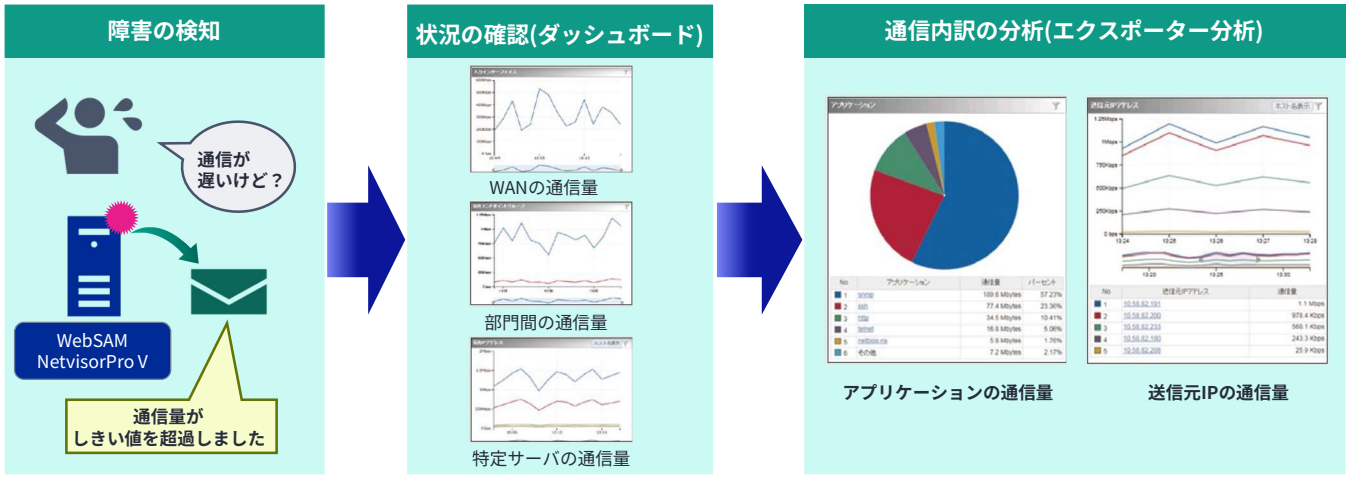
適用効果

ネットワーク利用状況を把握	詳細分析の効率化	運用者視点での可視化
どのようなアプリケーションや、どこからどこ宛のトラフィックが多いか、ネットワークフローを可視化することで簡単に把握できます。	グラフからクリック1つで通信の送信元／宛先IPアドレスやアプリケーション等で絞り込み、トラフィック分析を効率化できます。	IPアドレス範囲を拠点／部門名、IPアドレスとポート番号を任意のアプリケーション名に定義し、運用者視点での可視化ができます。

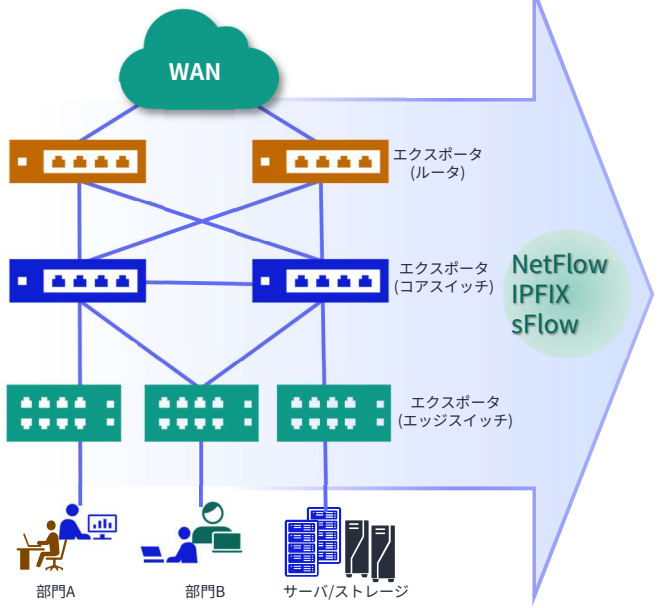
運用イメージ

WebSAM Network Flow Analyzerは、NetFlow/IPFIX/sFlowフローコレクタです。従来のSNMPでは見ることができなかったトラフィックの内訳「誰が どこ宛に 何の通信を どれくらい 行っているのか」 をNetFlow/IPFIX/sFlowで可視化し、ネットワークの安定運用をサポートします。





活用例



エクスポータ：
通信の状況をNetFlow／sFlowパケットとして送信することができる装置またはソフトウェアのこと。

課題に適した分析を実施

1
- WAN回線にかかる負荷の要因を分析
- インターネットの利用状況をチェック

2
- 新規システムの配置、ネットワーク構成変更に対する影響を調査
- 部門間の通信状況を管理(傾向分析)

3
- 仮想マシンの最適配置のため通信状況を分析
- 業務システムのレスポンス低下原因を調査

**通信状況をさまざまな角度から分析し
ネットワークの安定運用をサポート**

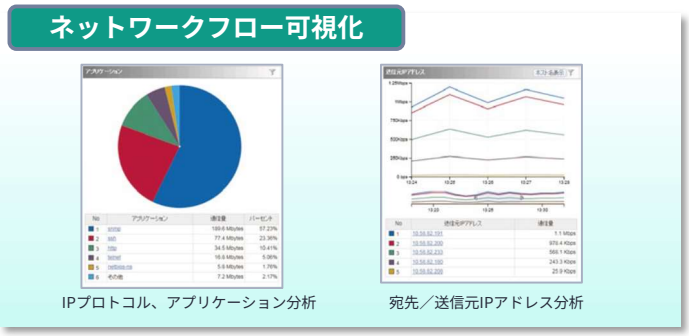
機能一覧

ネットワークフロー可視化

NetFlow/IPFIX/sFlowのフロー情報を収集することでトラフィックの内訳を可視化し、ネットワークの負荷要因などを容易に分析することができます。

カスタマイズ可能なダッシュボード

グラフ、カレントアラートリストを用途に合わせて自由に選択、配置することが可能なため、必要な情報のみ表示でき、効率的な分析ができます。



アプリケーション定義

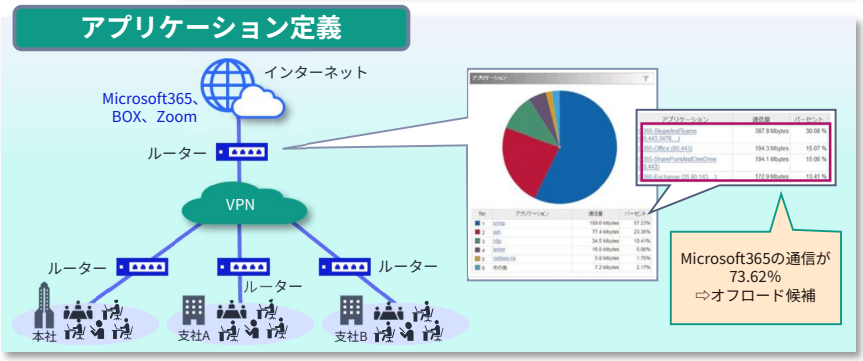
アプリケーションを宛先/送信元IPアドレスやドメイン名とポート番号の組み合わせで定義することにより、ポート番号だけでは区別できないアプリケーションやクラウドサービスの通信についても詳細に分析することができます。

グルーピング定義

IPアドレスなどでグルーピングして定義することにより、拠点や部門単位でのトラフィック情報を表示でき、グループ単位での傾向分析に活用することができます。

ローデータ出力

受信した全フローのローデータを保持することで簡易的なネットワークフォレンジックとしてセキュリティインシデント発生時にどのような通信が流れていたのか分析することができます。



動作環境

WebSAM NetvisorPro V

OS	マネージャ機能	ビューア機能
Windows Server 2025(x64)	○	○
Windows Server 2022(x64)	○	○
Windows Server 2019(x64)	○	○
Windows 11 Pro / Enterprise(x64)	×	○
Red Hat Enterprise Linux 9 (x86_64)	○	×
Red Hat Enterprise Linux 8(x86_64)	○	×

	マネージャ機能	ビューア機能
CPU	Intel デュアルコアXeon以上、または同等の互換プロセッサを推奨	Intel Core i3以上、または同等の互換プロセッサを推奨
システムメモリ	1GB以上(8GB以上を推奨)	512MB以上(1GB以上を推奨)
ディスク(空き容量)	3GB以上(20GB以上を推奨)	500MB以上

WebSAM Network Flow Analyzer

OS	Red Hat Enterprise Linux 9 (x86_64) (9.2 以上をサポート) Red Hat Enterprise Linux 8 (x86_64)
対応ブラウザ	Windows 上で動作する以下のブラウザー Microsoft Edge 104 以上 Google Chrome 104 以上
対応フロープロトコル	NetFlow v5、v9 IPFIX sFlow v4、v5 ※NetFlow、IPFIXはサンプリングにも対応

CPU	Intel クアッドコアXeon以上、または同等の 互換プロセッサを推奨
システムメモリ	4GB以上(16GB以上を推奨)
ディスク(空き容量)	インストールディレクトリ：5GB以上 データディレクトリ：最低100GB以上

Webコンソール（WebSAM Integrated Management Server）

WebSAM Integrated Management Server コンポーネント	
OS	Windows Server 2025 (x64) Windows Server 2022 (x64) Windows Server 2019 (x64) Red Hat Enterprise Linux 9 (x86_64) (9.2 以上をサポート) Red Hat Enterprise Linux 8 (x86_64)
CPU	Intel クアッドコアXeon以上、 または同等の互換プロセッサを推奨
システムメモリ	最低2GB以上 (8GB以上を推奨)
ディスク(空き容量)	インストールパス:2GB以上 データパス:最低20GB以上 (200GB以上を推奨)

Webブラウザ	
対応ブラウザ	Windows 上で動作する以下のWebブラウザー Microsoft Edge 104 以上 Google Chrome 104 以上
CPU	Intel Core i3(第6世代)以上、 または同等の互換プロセッサを推奨
システムメモリ	最低1GB以上(3GB以上を推奨)

●最新の情報については製品ホームページをご覧ください。

お問い合わせは、下記へ
NEC ファーストコンタクトセンター ソフトウェアお問い合わせ

TEL：0120-5800-72
受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日・NEC所定の休日を除く）
https://jpn.nec.com/websam/netvisorprov/
https://jpn.nec.com/websam/networkflowanalyzer/